

平成28年1月13日  
関東農政局

平成27年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）第1回技術検討会  
議事概要

1 開催日 平成27年11月6日（金）9:50～16:20

2 出席委員 別紙のとおり

3 場所 [再評価]  
農業競争力強化基盤整備事業  
茂畑地区（静岡県静岡市）  
[事後評価]  
中山間地域総合整備事業  
足柄地区（静岡県御殿場市、小山町）

4 技術検討会の概要

○技術検討会の委員長の選出について

- ・委員の互選により、委員長に黒田委員が選出された。

○技術検討会に関する情報公開について

- ・技術検討会（第2回）以降の傍聴は可とすること、議事録は発言者名を明記した上で公表することについて、委員の了承が得られた。

○再評価現地調査について

- ・当該地区の事業概要、進捗状況、区画整理の整備状況、周辺類似地区における効果発現等について説明を行った。
- ・地区内のほ場では、整備した防風ネットなどの施設やミカンの栽培について説明するとともにスピードスプレイヤーによる防除作業など現地調査を行った。
- ・ほ場では、関係土地改良区理事長や地区内の受益農家との意見交換を行った。
- ・受益農家からは、以前は急傾斜地での重労働であったが、平坦での農地になり機械利用が可能になったこと、また高日照になり収穫量も上がり品質の良い農作物を生産できることなどの説明があった。

○事後評価現地調査について

- ・当該地区の事業概要及び事業効果の発現状況について説明を行うとともに、本事業で整備した、ほ場（新柴①地区）、活性化施設、農村公園の現地調査を行った。
- ・活性化施設では、本施設を利用している、地域の認定農業者の出資により設立された「(有)ふじあざみ」及び施設管理者である小山町と意見交換を行い、地域のイベントや地元の農産物を利用した加工品の開発・生産等、施設の活用状況を確認した。また、農村公園では、地域住民の利用のみならず、地域の一大イベントである「富士山金太郎祭り」の開催地として都市農村交流に活用されており、計画利用人数以上が利用していることを確認した。
- ・ほ場（新柴①地区）では、区画整理、農道整備による作業効率の向上と鳥獣害防止柵による鳥獣被害の防止により、生産性の向上が図られたほ場の状況を確認した。

別 紙

平成27年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）  
第1回技術検討会 出席者委員

平成27年11月6日

氏 名	所 属
[技術検討会委員]	
小 倉 久 子	環境パートナーシップちば事業部長
黒 田 久 雄 ※委員長	茨城大学農学部教授
清 水 みゆき	日本大学生物資源科学部教授
中 村 哲 也	共栄大学国際経営学部准教授